

山崎ひろし

声をかけ!! 行動力!!



発行：山崎ひろし事務所 〒510-8037 三重県四日市市垂坂町883-5
TEL 059-333-3206 FAX 059-333-3206

現在の役職

- 防災県土整備企業常任委員会 委員長
- 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長

皆様のお陰を持ちまして三重県政に取組み働かせて頂ける事を感謝申し上げます。
コロナ禍の感染症・オミクロン対策等、国・県・市・町と調整し皆さんの声を力に行動して参ります！

三重県議会にて一般質問いたしました《令和4年3月2日》

右のQRコードから
令和4年定例会
(令和4年3月2日)
動画をご覧いただけます。



四日市萬古焼について

Q [質問]

三重県の誇る伝統工芸品である四日市萬古焼の原料価格高騰に対する支援について、三重県のお考えを教えてください。

A [答弁]

四日市萬古焼の主原料であるペタライト鉱石は主にジンバブエから輸入していますが、近年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、採掘遅延や港までの運送停止などの影響が出ています。県では、工業研究所において、陶磁器業界と連携を図り、代替原料の研究やペタライト鉱石の使用量削減に関する研究に取り組んでいるほか、県のセーフティネット資金など資金繰り支援も含めた総合的な支援を行ってまいります。

Q [質問]

県産品を世界に向けて輸出する販売支援やその成果について教えてください。

A [答弁]

県産品の輸出拡大に向け、ロンドンで「三重県フェア」を開催したほか、海外バイヤーとのオンライン商談会を実施しました。また、地域商社と連携し、複数事業者の商品を一括して商談を行うことで、ASEAN、EU等に対し、加工食品や日本酒など多品目の成約を得ました。さらに、貿易アドバイザーによる実務支援に取り組むとともに、伝統工芸品と食材を組み合わせる等、商品訴求力の強化にチャレンジしてまいります。

上げられました。これによる経済的負担の軽減が私立高校への入学者数の増加の一因だと考えますが、県立高校と私立高校の授業料負担の格差や今後の就学支援金についてのお考えを教えてください。

A [答弁]

就学支援金制度の改正前と比べると、私立高等学校への入学者が増加しました。こうした引き上げによる効果を今後も注視し、希望する私立高等学校へ進学できる機会を保障していくという観点から、国に対して、就学支援金制度の拡充を要望するなど、就学支援金制度の充実に取り組んでいきます。

学校部活動について

Q [質問]

コロナ禍での部活動の実施状況と部活動の継続に向けたお考えを教えてください。

A [答弁]

令和3年度の県立学校の部活動は、感染状況に応じて制限がある中であっても、活動内容を工夫するなど一生懸命練習に取り組んできました。県教育委員会としても、コロナ禍で頑張っている生徒が成果を発揮できる大会を開催できるよう関係団体と連携して対応してきました。今後も、必要な対策を行い、可能な限り子どもたちの活動の機会を確保していきたいと考えています。

Q [質問]

現在までの部活動指導員の配置によって、どのような効果が確認されたのかを教員側・生徒側のそれぞれの側面から教えてください。

A [答弁]

学校からは「専門的な知識や指導力を有する指導員に任せることで、部員の士気や技能が向上し大変助かっている。」、生徒からは「レベルに応じた指導方法で教わることができ、とても分かりやすく技能が向上した。」といった効果を聞いています。専門的な指導により有意義な活動につながり、顧問の業務負担の軽減となることから、今後も配置を拡充できるよう取り組んでいきます。

Q [質問]

今後の特に中学生における部活動改革の方向性がどのようになっていくのかをお聞かせください。

A [答弁]

部活動の改革は、すべての市町で進めていく必要があります。部活動ガイドラインに基づき、日常の部活動での生徒への効果的な指導と教員の負担軽減を図るほか、「休日の部活動の段階的な地域移行」が令和5年度から円滑に進むようモデル校での取組を継続します。生徒にとって望ましい部活動が持続されていくよう、市町教育委員会と連携し、あり方検討委員会での議論を進めていきます。

裏面に続く➡



「三重の伝統工芸品パンフレット」より

三重県内私立高等学校への就学支援金について

Q [質問]

令和2年度、私立高校に対して就学支援金の上限額が大幅に引き

三重県議会にて一般質問いたしました《令和4年3月2日》

右のQRコードから
令和4年定例会
(令和4年3月2日)
動画をご覧いただけます。



県内スポーツ施設について

Q [質問]

今後の県内スポーツ振興と発展のための財源確保を目的としたドリームオーシャンスタジアムの広告募集について、現在の募集状況と進捗を教えてください。

A [答弁]

広告掲出については、昨年11月5日から本年2月15日まで公募を行い、10の枠に対して、5社7枠のご応募をいただきました。今後、広告主となる各企業様において、広告を制作・設置いただき、4月1日から掲出されることとなります。なお、応募のなかった3枠については、3月7日から再募集を行うこととしており、引き続き、広告枠の募集に取り組むことで、すべての広告枠にご応募いただけるよう努めてまいります。

Q [質問]

今後はドリームオーシャンスタジアムを含め各球場へのWi-Fi設備を整備すべきであると考えますが、お考えをお聞かせください。

A [答弁]

Wi-Fi設備の導入は当該施設の利便性や付加価値を高めるうえで有益なツールであると考えています。一方、その整備主体や整備手法をどうするか、提供すべき情報サービスの内容や通信エリアの設定範囲、維持管理も含めた費用負担のあり方、効果の見極めなど、検討すべきいくつかの課題があります。また、県内外の他の施設管理者の考え方や事例などについても情報収集を行い、導入の可否について、今後よく検討していきたいと考えています。

報告 鹿化川・天白川の整備が実現しました

鹿化川は三重県が管理する二級河川であるが、昭和49年の集中豪雨で氾濫した後、一部では改修工事がなされてきたが、過去10年間に「はん濫危険水位」を超えること11回、「避難判断水位」を超えること10回と、災害の危険が増している状態であり、天白川についても同様です。この状況について、四日市自主防災組織からも早期の改修の要望も多く、非常に懸念しておりました。また、自身も昭和49年に床上浸水を経験しており、防災士として大きな課題でした。

いよいよ今年から暫定的に、川底を1メートル程度掘り下げ、鉄道との交差部分でも鉄橋に影響しない範囲で川幅を確保する治水工事を実施していく予定になりましたので、皆様には河川整備についての概要版をご報告いたします。

二級河川鹿化川・天白川の河川整備について(概要版)

【治水対策の効果】

治水対策実施により河川の流下能力が改善し、治水安全度が向上します。

計画規模 : 1/5以下 → 1/30相当
河川流下能力 : 100(m³/s) → 概ね160(m³/s)

(参考) 抜本対策 (1/50)諸元
・計画規模 : 1/50
・河川流下能力 : 170(m³/s)

◆通報水位超過頻度軽減

治水対策後の河道において過去10年間の出水を当てはめた場合、水位上昇による通報水位超過の頻度が軽減され、避難指示や高齢者等避難の発令頻度も減少することが見込めます。



【堤防強化】

堤防強化とは、想定を超えた大雨によって川の水が堤防を乗り越えて堤防が決壊しやすい状態になります。そこで堤防をブロック等により「粘り強い堤防」として強化するものです。



◆堤防強化イメージ



【今後の予定】

〈鹿化川〉

- 治水対策の工事実施に向けた地形測量と設計を実施します。(曙橋～横長井堰間)
- 堤防強化の実施に向けた検討のための測量・設計を実施します。(曙橋～横長井堰間)
- 河道内の立木伐採工事を実施します(近鉄橋～横長井堰間)
- 鉄道橋の治水対策に伴う影響評価の検討を予定しています。(近鉄・JR)
- 治水対策工事の実施を予定しています。(曙橋～JR橋間)

〈天白川(大井の川)〉

- 鹿化川治水対策として堆積土砂撤去実施に向けた測量を実施します。(千歳運河～国道23号)

〈天白川〉

- 堤防強化の実施に向けた検討のための測量・設計を実施します(国道1号下流～天白橋間)

赤: R3年度実施予定
青: R4年度実施予定



①2023年みえG7
関係閣僚会合誘致
推進協議会
2022年1月11日(火)



②名神名阪連絡道路
建設促進大会
2022年1月13日(木)

お知らせ

令和4年度朝明川河川改修工事にて発生する朝明川の堆積土砂・砂利については、高潮・養浜整備にて活用される方向です。

三重県議会での経歴

2019年

- 常任委員会: 防災県土整備企業常任委員会 委員 予算決算常任委員会 委員
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員

三重県議会議員1期

2020年

- 常任委員会: 医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会: 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員

2021年

- 常任委員会: 防災県土整備企業常任委員会 委員長 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会: 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長
- 広聴広報会議 委員
- 委員長会議 常任委員長



防災みえ.jp (<https://bosaimie.secure.force.com/>) にて災害状況がご覧になれます。

発行/山崎ひろし事務所 TEL.059-333-3206 FAX.059-333-3206 mail h-yamazaki@yamafen.jp

お気軽にメール・FAXお待ちしております!

お知らせ

山崎博! 県政報告会は、ホームページ・案内チラシにて連絡報告させていただきます。

山崎ひろし 公式ホームページ
<https://yamazakihiroshi.jp>

